

養豚研究所 ～研究領域：養豚～

◆主な研究課題・事業◆

課題1 県産飼料原料の活用技術の開発による低コスト化

飼料自給率の向上と飼料費の低減を図るため、県産飼料原料の調製コストを抑えつつ保存性を高めた調製技術の開発及び給与期間の延長を行うとともに、これらの飼料が肉質等に及ぼす効果について解明します。



給与試験の実施状況

課題2 豚慢性疾病のコントロール技術の確立

離乳子豚の主要な死亡原因であり、慢性化して敗血症や関節炎など様々な症状を示すことに加えて人獣共通感染症としても重要な豚レンサ球菌症に対して、省力的かつ効果的なワクチネーション技術を確立します。



豚レンサ球菌症を発症した離乳子豚

課題3 画像解析を応用した母豚の飼養管理手法の開発

これまで飼養管理者の経験や感覚で行われてきた母豚等の栄養管理について、デジタル画像解析技術を応用して、省力的かつ誰でも一定水準の管理が可能となる新技術を開発します。



母豚のボディコンディション判定

課題4 暑熱ストレス低減のための飼養管理手法等の開発

養豚経営において暑熱ストレスによる畜産物の生産性低下が課題となっていることから、夏季の繁殖成績改善を図るため、現場において導入可能な簡易的に取り組める冷却手法やLED照明による受胎率向上技術を開発します。



暑熱ストレスを受ける種雄豚

事業 豚改良増殖対策事業

開放型育種手法により開発した改良型ガッサンエル（ランドレース種）及びデュロック種の利用拡大を推進するとともに、豚産肉能力検定やDNA情報の分析・活用による種豚選抜を行い、改良の効率化を図ります。

また、優良な種雄豚の人工授精用精液等を養豚農家に供給し、県産豚肉の品質の維持向上に取り組んでいます。

対象品種：デュロック種、パークシャー種、ランドレース種、大ヨークシャー種



改良型ランドレース種豚